

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------|--|---|---|
| 家計 動向 関連 | 良くなる | コンビニ（経営者） | ・7月のタスポカードの全国導入開始に伴い、たばこ販売量の大きな増加が期待できる上、向かいにある競合コンビニエンスストアが今月で閉店することから、非常に忙しくなる。 |
| | | コンビニ（エリア担当） | ・7月よりタスポカードの全国導入が開始される。先行地域での数値は大きく上昇しており、大いに期待できる。たばこを買いに来る客に、タバコ以外の商品を購入してもらうことで、更に大きなチャンスとなる。 |
| | | 家電量販店（経営者） | ・景気の先行き不安から、ボーナスの使い道は、旅行ではなく貯蓄や家庭内での余暇の充実に回す傾向があるとされており、8月の北京オリンピックに合わせた大型テレビやレコーダーの消費が期待できる。また、エコ意識の高まりから、対応する白物家電商品の動きが活発になる。 |
| | | 通信会社（営業担当） | ・北京オリンピックの開催と地上デジタル放送への移行という2つのイベントがあることから、契約の増加が見込める。 |
| | | 観光名所（職員） | ・この4月から5、6月にかけて右肩上がりの来客数となっている。 |
| | | パチンコ店（経営者） | ・洞爺湖サミット開催の関係で台の入れ替えが自粛されており、7月中旬までは入れ替えができないが、2、3か月先は台の入れ替えが頻繁になり、それに伴う来客数が見込める。 |
| | 変わらない | 百貨店（広報担当） | ・地下鉄新線の開通による来街者数増加の影響で、来客数は6か月ぶりに前年を上回り高伸している。食品フロアに来客数が倍増超と、連日のにぎわいを見せており、7月のセールに向けて集客向上が期待される。 |
| | | 百貨店（店長） | ・ガソリンの再値上げにより、消費者のみならず生産者側にも大きな影響が出てきている。原材料費の高騰による食料品の値上げが更に進み、より厳しさが増すことで、消費に対する抑制感が強くなり、生活防衛意識はより高くなる。 |
| | | 百貨店（副店長） | ・秋冬商品に目新しさが感じられない。また先行きの不透明感が払拭されない限り、今のような状況が続く。 |
| | | スーパー（店長） | ・ガソリンを始め食料品価格の高騰がめじる押しのか、販売数量の落ち込みが若干目立ってきている。 |
| | | スーパー（店長） | ・メーカーの値上げ攻勢等により、なかなか販売に結び付かない。特売を行っても客は特売品だけを買って、それ以上多く買うということはなく、非常に厳しい。現状客に見せることのできる努力はすべて実施しているため、状況は変わらない。 |
| | | スーパー（店長） | ・大部分の商品の値上げが一通り終わったが、医療費、教育費、光熱費等生活関連費の上昇により、食品の買い控えの傾向はまだ続く。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | ・衣料品は、卸が値上げをしてきても、食料品のように売価に転嫁することができないので厳しい状況が続く。 |
| | | 乗用車販売店（販売担当） | ・今後もガソリンや諸物価の値上がりが続くと予想されるが、車の販売においては、古くて燃費の悪い車両からの乗換需要が出てきているので、大幅な落ち込みも少なく今後も変わらない。 |
| やや悪くなる | 高級レストラン（支配人） | ・来客数は戻りつつあるが、特に個人客の客単価が若干下がり気味になっていることが懸念される。 | |
| | 都市型ホテル（スタッフ） | ・2、3か月先の集客状況は前年同時期と比較して、宴会は法人宴会、婚礼共に微増である。レストランと宿泊の予約はこれから入るので油断はできないが、ホテル全体としては変わらないと見込んでいる。 | |
| | タクシー（団体役員） | ・原油価格や諸物価は今後も上昇傾向が続き、交通費などの経費削減が更に進む。 | |
| | 通信会社（営業担当） | ・北京オリンピックが終わるまではテレビの買い換え需要を中心に何とか現状維持していく。 | |
| | その他サービス〔結婚式場〕（従業員） | ・夏場の宴会予約が急にバタバタと入ってきたが、それでも前年よりは少なく、8月は更に厳しい状況になる。レストランの景気は多少良くなったが、宴会、婚礼の予約が増える兆しがない。 | |
| | 一般小売店〔酒類〕（経営者） | ・諸物価の高騰により買い控えが続き、雨の日は来客数が全くない日もあり、先行き不透明である。 | |
| 一般小売店〔生花〕（経営者） | ・様々な物品が値上がりしているため、生活に直接関係ないし好品やインテリア用品は売れない。 | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 一般小売店〔文具〕 (販売企画担当) | ・各仕入先より原材料の高騰による値上げの通達が届いており、販売価格に反映せざるをえない。個人の消費がどうしても落ち込んでいる現状では、この値上げが年末に掛けた需要に影響してくる。 |
| 百貨店(営業担当) | ・今まで安定していた婦人服、服飾雑貨等の婦人関連商品の動きが悪い。特に買上点数が少なく、買い物を必要最低限にとどめている様子が見られ、これは株価低迷、原油を始めとした資源価格の高騰やインフレ懸念に起因しているとみている。来月のバーゲン商品の動きが今後の景気を判断する材料となるので注視する。 |
| 百貨店(営業担当) | ・イベントなどにより瞬間的な来客数増は見込まれるものの、購買動機にまではつながらない。6月は浮上のかぎを握る月と見込んだが、売上に大きな変化はみられなかった。中元ギフトの動きも厳しく、今後しばらくは消費に対する厳しい状況に変化はない。 |
| 百貨店(販売促進担当) | ・地下鉄新線開通の影響もあり、地域的に不利な状態は続く。省庁のボーナス支給以降の中元商戦に期待するも、スタートダッシュでは出遅れた感が否めない。 |
| 百貨店(販売促進担当) | ・小麦、石油等の値上げ、株安等の経済状況のみならず、今後も地震や台風の影響が懸念されるため、好況とはいえない状況が続く。 |
| スーパー(経営者) | ・今後の見通しとして良い材料が見当たらない。値上げは更に加速していく感があり、収入が増えない状況で節約志向になっていく。現在はそれほどでもないが2、3か月先は悪くなっていく。 |
| スーパー(統括) | ・客当たりの買上単価が上がらない。商品の単価も価格を打ち出しているせいか、単価アップにつながらない状況で厳しい商売である。 |
| コンビニ(経営者) | ・同類の商品を扱っている一般店の閉店が目立ち始めている。そういった店の客を引き入れられればプラス、だめならマイナスというような形で、景気自体としては悪い方向向かっている。 |
| コンビニ(経営者) | ・原油の値上げが経済全体に影響を及ぼしている。周辺の商店街もシャッターを下ろしている店舗が多く、しばらく景気回復は見込めない。 |
| 衣料品専門店(経営者) | ・今夏の天気、気温が読みにくいというえ、消費者の動向も予想しにくく、セールや初秋物の動きが心配される。メーカー側も安い商材が多く、客単価の低下も予想される。 |
| 家電量販店(店長) | ・物価が高騰している。ただし、省エネがキーワードとなり、省エネ商品の動きは好調である。 |
| 家電量販店(営業統括) | ・生活必需品のコスト増加が消費全体を押し下げる。燃料費や光熱費が上がり食材費用が高騰すれば、ぜいたく品の消費が抑えられる。住宅の販売も低迷しているため、新たな消費ニーズが見つからない状況である。オリンピック需要は限定的であるとみており、オリンピック終了後の消費はますます厳しい。 |
| 乗用車販売店(経営者) | ・暫定税率やガソリンの高騰等、自動車業界にとって明るい情報は無い。 |
| 乗用車販売店(渉外担当) | ・原油価格の高騰、消費財の値上げなど、先行きが不透明な値上げが続いており、特に高額商品購入に影響が出てくる懸念がある。今後2～3か月は前年比微減の見込みであり、厳しい状況である。 |
| 一般レストラン(経営者) | ・物価高騰によりメニューの価格を改定した結果、客の出足が良くない。 |
| 都市型ホテル(経営者) | ・今後の婚礼の獲得状況が思わしくなく、3か月後も同じような形で売上の減少傾向がみられる。 |
| 都市型ホテル(スタッフ) | ・景気の停滞感が影響し、大掛かりな婚礼が減少している。小規模での会食メインの婚礼増加のため、売上が伸びない。 |
| 都市型ホテル(スタッフ) | ・ブライダル予約の状況が昨年に比べて非常に弱く、なかなか伸びてこない。 |
| 旅行代理店(従業員) | ・花火大会チケットの申込状況が前年と比べて悪い。 |
| 旅行代理店(従業員) | ・原油高の影響によりバスや飛行機のガソリンの値段が上がるため、景気回復は見込めない。 |
| タクシー運転手 | ・町が非常に閑散としており、これから良くなる要素が見当たらない。 |
| タクシー運転手 | ・値上げ問題で節約を考え、無駄を排除しようとする、タクシー利用客は圧倒的に減ってしまう。 |

| | | |
|--------|--|--|
| | | <p>通信会社（総務担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン価格が高騰し、電気料金も値上げされる予定であることから、ぜいたくを抑制し消費を控える者が多くなり、加入者獲得が一段と難しくなる。 <p>ゴルフ練習場（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン価格や物価の上昇が続き、余暇に対するお金の利用が減っていく。 <p>その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームは、面白くないものは見向きもされないが、面白いものはひっぱりだこになる傾向がある。ここ数年は物価や景気の変動にほとんど影響を受けなかったが、今回のガソリン高、物価高、資源高等は、客にかなりの心理的な影響を与えているようで、購買本数の減少傾向が若干ながら見受けられる。 <p>その他サービス [語学学校]（総務担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の入会者の動きが鈍く、見学者数は前年比約30%減となっている。 <p>住宅販売会社（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸物価の値上がりによりユーザーの購買動機にブレーキが掛かっているなか、建材価格の値上がりが更に続けばますます状況は厳しくなる。 <p>住宅販売会社（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示場への来客数が減少している。 |
| 悪くなる | <p>一般小売店 [家具]（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活物資の価格が上がり生活防衛の意識が高まるなかでは、我々の販売する耐久消費財はますます悪くなる。 <p>一般小売店 [食料雑貨]（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇による買い控えが目立ち、すべてにおいて節約傾向がみられる。 <p>百貨店（売場主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月からの再度の価格高騰の影響により、今以上に消費は低迷する。 <p>コンビニ（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数か月、商品の高騰等によりますます売上が悪くなっている。それ以外にも、景気が良くなりそうな材料が見当たらない。 <p>コンビニ（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格上昇に対する守りに転じたのか、客がスーパーやディスカウントストアに流れ、コンビニに足を向けてもらえない。 <p>コンビニ（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店前の道路の交通量が最近少なくなっている。車での来客が多いので、売上に響く。 <p>衣料品専門店（次長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン価格の高騰のため、客が郊外に買物に出る頻度が少なくなっている。来客数と買上単価が5%ほどダウンしており、この傾向は続く。 <p>乗用車販売店（販売担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状でも車の購入は難しいことに加え、鋼材の値上がりによりトラック関係も値段が上がることになっている。原油価格の高騰にもかかわらず輸送運賃は据置きという生活のなかで、新車需要は前年からみると約6割まで落ち込んでいる。今後については食料品の価格も上がっていくなかでますます景気は悪くなる。 <p>その他専門店 [服飾雑貨]（統括）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客数に関しては前年比で特に減少は見られないが、財布のひもは固く、客単価が減少傾向にある。 <p>一般レストラン（店長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者からの原油高、食料品等の相次ぐ値上げが収益をかなり圧迫してきているため、当店も値上げをする必要が出てきている。値上げにより、当然来客数、販売量が減ってますます悪い状況になる。 <p>旅行代理店（従業員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油問題、若年層の海外旅行離れや全体的な景気不透明感によるマーケットの縮小が深刻である。 <p>タクシー運転手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、官庁職員の深夜帰宅が自粛されると考えられ、影響は大きい。しばらくの間、タクシーの景気は悪いまま推移する。 <p>通信会社（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の案件情報が無い状態が続いている。 <p>設計事務所（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景気は非常に悪くなる。中国では四川大地震、日本では岩手・宮城地震が起こり、耐震設計の仕事は来ているが、当社は構造事務所ではないので、外注しなければならない。重油等物価も上がり、新しいものが見えず、先が見えない。客も何をしても良いのかわからない状態である。 <p>住宅販売会社（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バブル崩壊後景気回復を引っ張ってきた不動産市場が急激に冷え込んでしまっている。金融機関の建設不動産業者への融資も非常に厳しくなり、不況に落ち込んでいる状態で、ますます悪化する。 | |
| 企業動向関連 | <p>良くなる</p> <p>やや良くなる</p> <p>一般機械器具製造業（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに受注した品が夏から秋にかけて立ち上がってくるため、忙しくなって、当然売上も上がってくる。 <p>その他製造業 [ゲーム]（経営者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイビジョン録画媒体の統一及び北京オリンピック需要、更に2011年の地上デジタル放送への統一化により家電特需に拍車がかかることで、ハイビジョン再生が可能なゲーム機に若干の追い風となる。 | |

| | | |
|--------|-------------------------|--|
| | その他サービス業 [情報サービス] (従業員) | ・平成20年度第3四半期のスタートに合わせた相談や提案依頼が増えてきており、当面、光回線によるサービス需要が継続的に発生する。 |
| 変わらない | 食料品製造業 (経営者) | ・ガソリンの値上げや物価の上昇により、買い控えが目立つ。 |
| | 出版・印刷・同関連産業 (総務担当) | ・現在、原材料の値上がりを転嫁できない部分は外注費削減でカバーしているが、薄利を圧迫される状況に変わりはない。しかし、長期にわたる原油高で、取引先にも単価の値上げは仕方がないという雰囲気も若干あり、値上げ交渉の余地も出てきている。 |
| | 電気機械器具製造業 (経営者) | ・今は流通業界も空調業界も最悪の状態である。通常の商品が売れなくなったが、新製品や新規取引先の確保で何とか平年並みの売上水準を保っている。 |
| | その他製造業 [靴] (経営者) | ・商品内容において非常に努力しているのに、やや好調とも取れるような流れになってはいるものの、それが急に大幅に上がったりが下がりすぎるといったことはなく、今の努力の中で保つことができている結果である。 |
| | 建設業 (経理担当) | ・建築確認の許可は以前より多少早く下りるようになったが、相変わらず工事案件は少ない。競争の未受注でても、原材料の値上げがまだまだ止まらないので、利益は生まれない工事ばかりである。この状態はまだまだ続きそうである。 |
| やや悪くなる | 化学工業 (従業員) | ・一部の原料が7月より値上がりするほか、それ以降も値上げの通知があり、製品の動きも悪く、良くなる兆しはない。 |
| | プラスチック製品製造業 (経営者) | ・新企画もなかなか決まらず、原油価格の高騰による原材料値上げ等もあり、良い材料は見当たらない。 |
| | 電気機械器具製造業 (経営者) | ・すべての製材部品の値上がりが確定しており、流通運搬の価格も上昇しそうな状況にあるため、需要が大きく落ちることを心配している。 |
| | 建設業 (営業担当) | ・消費税の上昇が示唆され、建設物資が値上がりしているため、事業計画を進めるか客が戸惑っている。 |
| | 輸送業 (財務・経理担当) | ・改善に向けた具体策がない。 |
| | 金融業 (審査担当) | ・原油価格の高騰によりマグロ漁船等が休業せざるを得ず、これに伴い魚価の市場価格が高騰している。しかしながら消費者に対する販売価格は横ばいであり、不況感は一層高まっている。 |
| | 金融業 (支店長) | ・小売業に関しては消費がかなり落ちてきており、売上が減少している。建設業に関しては、建築確認許可の厳格化の関係もあるが、住宅が売れていないのが現状である。一般の客に関してはガソリン価格高騰の影響による諸物価の値上げがあり、資金が全然動いていない。今後もこれらの問題が解決しない限り難しい。 |
| | 不動産業 (総務担当) | ・ビル賃貸部門はテナントの状況から好調さを維持できると見込んでいるが、住宅分譲部門はいよいよ建築資材の値上げの影響が出始め、採算を取るには販売価格の値上げが必要で、売行きに悪影響が出てくる。 |
| | 司法書士 | ・燃料の値上げが運送事業の不振や諸物価の値上げにつながっており、数か月では景気は回復しない。 |
| | その他サービス業 [廃棄物処理] (経営者) | ・燃料費や原材料費等の値上げが決定しており、ますます利益が圧迫される傾向にある。 |
| 悪くなる | 食料品製造業 (経営者) | ・ガソリン、光熱費、ポリ袋等の仕入れの経費が増加する。 |
| | 繊維工業 (従業員) | ・原材料や原油の価格高騰により、製造メーカーは利益が出ない生産活動を余儀なくされている。さらに、これらの状況に拍車をかけて消費者は衣料の買い控えに動いているため、今後、繊維企業の中でも特にしわ寄せを受けやすい中小企業はますます経営不振が増幅される。 |
| | 出版・印刷・同関連産業 (経営者) | ・材料の度重なる値上げにより、見積を取っても見積期間が短い上、決まったときには値上がりしている状態なので非常に厳しい。値上げにより再見積をすると仕事を断られるなど、本当に先行きが不安である。 |
| | 建設業 (経営者) | ・原油、材料の高騰が響き、客は様子見の状態である。地元では大手不動産会社が整理するとの話も聞かれる。 |
| | 輸送業 (営業統括) | ・消費が落ち込んで輸送するものが少なくなるなか、燃料価格が更に上がっているため、経営的にはかなり厳しい状態が続く。 |
| | 輸送業 (総務担当) | ・荷主の出荷量が伸びずに計画を下回っている状態で売上増が見込めない。更に、燃料の高騰も毎月続いているにもかかわらず燃料アップ分を運賃に転嫁できない。 |

| | | | |
|----------------|-----------------|---|---|
| | | 広告代理店（従業員） | ・メーカーからポリエチレン商品の材料値上げ依頼がきているが、商品価格への転嫁が難しい環境にあるため、収益が大幅に悪化しそうである。 |
| 雇用 関連 | 良くなる | | |
| | やや良くなる | 学校〔専門学校〕（教務担当） | ・コンピュータの専門学校だが、ソフト開発系の求人が相変わらず多い。バブル時代を思わせるほど、企業の採用担当の必死さがうかがえる。 |
| | 変わらない | 求人情報誌製作会社（編集者） | ・早い企業では来年の採用の準備に入っているが、大手が中心で中堅、中小は様子見である。昨年のような活発さは見受けられない。 |
| | | 求人情報誌製作会社（編集担当） | ・今月は求人数の減少と共に正社員の求人が大幅に減少し、アルバイト、パートなどの募集が多少目立った程度である。秋に大規模ショッピングセンターがオープンする地域では関連の求人が見込まれるが、その他での落ち込みが予想されるため、全体の求人数に大きな変動はない。 |
| | | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・大手派遣会社撤退のニュースや原油高、物価高の影響は大きく、求人の動きを見ると、現段階で人手不足から仕事不足に転換してしまった地域も多い。東京都内ではまだまだ人手不足感があるが、最近、都内の求人募集に対して県内からの応募が非常に多くなっている傾向が顕著で、これは県内における仕事不足を象徴している。 |
| 学校〔専修学校〕（就職担当） | | ・過年度求人実績企業の今年度採用計画状況に大きな変化はない。 | |
| やや悪くなる | 人材派遣会社（営業担当） | ・スタッフを整理、縮小する動きが多く、当社及びその周辺の景気状況はやや悪くなる方向に向かう。 | |
| | 職業安定所（所長） | ・ガソリン価格の高騰や原材料の値上がり企業が収益を圧迫する上、消費の低迷もあることから、人件費抑制のため求人を手控える傾向がある。 | |
| | 職業安定所（職員） | ・原油高の影響により企業の求人意欲は低下している。一方、医療、福祉業は恒常的に人手不足が続いており、業種間格差が広がっている。 | |
| | 職業安定所（職員） | ・原油価格の高騰、公共事業の減少及び個人消費の低迷のため、主要産業の求人の減少が今後も続く。 | |
| | 民間職業紹介機関（経営者） | ・採用は費用の固定化につながることから、先行き不透明ななか、採用休止状態の企業が増えている。 | |
| 悪くなる | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・景況感からか、新規採用を控え、既存従業員での内部調整を進める企業が増えてきており、外部採用に要するコストの削減を凶る動きがみられる。 | |